

# 櫛田川通信

国土交通省 中部地方整備局  
三重河川国道事務所  
櫛田川出張所  
第16号  
平成24年11月発行



## 1. 櫛田川・佐奈川・西南海岸の工事箇所です！

**④漏水対策を実施しています。**  
松阪市新屋敷町地先

周辺井戸への影響を把握するため、観測用の井戸を設置し、地下水位等の変動を監視しながら、遮水用の矢板を打設しています。

**⑤昨年の台風の際に確認された堤防漏水対策を実施します。**  
松阪市櫛田町地先

漏水発生状況 (台風12号時)

**⑥海岸堤防の老朽化対策を実施しています。現在は、堤防補強に伴う樋門（海側）部分の施工を行っています。**  
松阪市松名瀬町地先

矢板で囲って、その中で樋門の海側部分を施工しています。

**⑤昨年の台風で被災した水際に護岸を施工します。**  
多気町西山地先

台風6号による水際の浸食状況

中万第四排水樋管 P2

①：櫛田川・佐奈川・西南海岸の管内全域が施工範囲

## 工事一覧表

- |          |                   |          |                |
|----------|-------------------|----------|----------------|
| ① 平成23年度 | 櫛田川堤防維持管理工事       | ⑥ 平成23年度 | 西南海岸松名瀬工区堤防工事  |
| ② 平成24年度 | 櫛田川法田護岸災害復旧工事     | ⑦ 平成24年度 | 伊勢湾西南海岸        |
| ③ 平成24年度 | 櫛田川下七見護岸災害復旧工事    |          | 松名瀬工区堤防工事      |
| ④ 平成24年度 | 櫛田川新屋敷護岸災害復旧工事    |          | (H24.11.30 現在) |
| ⑤ 平成24年度 | 櫛田川櫛田及び西山護岸災害復旧工事 |          |                |

## 2. 「排水ひ管」操作従事で感謝状！

11月14日(水)、「河川管理施設の適切な管理・操作に従事された個人に対する表彰式」が行われ、櫛田川左岸\*の堤防にある「中万第四排水ひ管」の管理・操作に永年従事された松阪市中万町の竹川繁様に感謝状を贈呈しました。

「排水ひ管」は、洪水の支川への逆流防止のための施設で、日頃の維持管理を始め、台風などの洪水時にはゲート操作のために出勤し、地域の安全のために貢献して頂きました。



森本事務所長から表彰を受ける竹川繁様(右側)

(位置は1ページをご覧ください！)



中万第四排水ひ管

\*左岸 = 上流側から下流側を見た時に、左側を左岸と言います。

## 3. 「川と海のクリーン大作戦」を実施しました！

10月14日(日)、10月20日(土)、11月18日(日)の3日間に渡り、櫛田川出張所管内5会場において、「川と海のクリーン大作戦」を実施しました！

全体で811名の参加者で、2トン車に換算して「可燃ゴミ5台分」・「不燃ゴミ4.5台分」を回収して頂きました。

クリーン大作戦は、美しい川や海を取り戻し、次の世代に引き継ぐために、私たちにできる川や海のゴミ対策について、住民の方々、各種団体、企業、自治体、河川・海岸管理者が、協力して活動を広げていくためのきっかけづくりの場とするために、平成11年に長良川で始まりました。

当管内では、地元住民の方々に組織された「佐奈川を美しくする会」(会場図④)と「掃水まちづくり協議会」(会場図⑤)の主催による清掃活動も、クリーン大作戦として参加して頂いております。



10月14日  
③松阪市中万町会場  
(事務局:国土交通省)



11月18日  
⑤松阪市櫛田町～菅生町会場  
(事務局:掃水まちづくり協議会)



10月14日  
②高須海岸会場  
(事務局:三重県)



10月20日  
④多気郡多気町兄国～朝長会場  
(事務局:佐奈川を美しくする会)



10月14日  
①松名瀬海岸会場  
(事務局:松阪市)

# 4. 櫛田川の自然再生に向けて

9月27日（木）、「自然再生検討会」は、櫛田川の自然再生を目指す計画書（原案）を作成しました。計画書は、学識者等により昨年度から調査・検討してきたもので、鮎などの回遊魚が遡上出来るような堰等の改善、瀬・淵・干潟の保全や、川と地域とのつながりの再生等の目標と対策からなります。

今後は、新たに地域団体も含めた「自然再生推進会議（仮称）」を設立し、具体整備やモニタリングを行う予定です。

[松阪市法田町]

法田側から櫛田川を望む。人が渡るにも荷を渡すにも渡しは必要であった。



法田西川の渡し



自然再生検討会の様子

【出典】  
目で見ると  
松阪・多気・飯南の100年  
(株)郷土出版社

昭和初期の櫛田川

[松阪市豊原町]

網を打ってアユかシラハエを捕っているのだろうか。自家用の魚を捕る人も多かった。



櫛田川の漁

※紙面に掲載している写真等は、(株)郷土出版社の転載許可を受けております。

# 5. 水質事故対策訓練を開催しました！

10月25日（木）、中川コミュニティセンター（松阪市嬉野中川町）とすぐ近くを流れる中村川（雲出川水系）の2会場で、水質事故対策訓練を開催しました！

この訓練は、三重四水系水質保全連絡協議会（事務局：三重河川国道事務所）が、水質事故対策の知識や技術の向上を目的として毎年1回行っているもので、今年は協議会構成機関から担当職員48名が参加しました。

〔構成機関：中部地方整備局、中部経済産業局、三重県、(独)水資源機構、四水系〔鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川〕流域市町〕

水質事故とは、水路や河川などに油や化学薬品などの汚染物質が流出することです。水質事故が発生すると、上水道の取水停止、魚類のへい死など社会生活や生態系に重大な影響を及ぼすおそれがあり、当協議会では、四水系における水質事故の早期発見及び被害の拡大防止に努めています。



油類吸着処理の説明



オイルフェンス連結訓練



簡易水質検査訓練



ロープ結び訓練



オイルフェンス展張訓練



油種類判別訓練

## 6. たくさんの小ガメが海にかえっていきました♪

西南海岸では、6月末からウミガメの上陸が始まりましたが、最終的に14回の産卵が確認されました。そのうち7箇所の産卵場所では、志摩半島野生動物研究会の若林先生により、孵化（ふか）調査が行われ、598匹の小ガメが孵化し、孵化率は64%～94%だったことがわかりました。

また、このころ7箇所の産卵場所については、台風17号による高潮・波浪により、孵化調査が実施できませんでしたが、これらの産卵場所についても、台風接近前に概ね孵化が終了していたことがわかっています。

以上より、合計で1000匹前後の小ガメが海にかえっていったと推測されます。

孵化後の産卵場所で、卵の殻の状態を確認することで、孵化数および孵化率を把握します。



孵化の時は・・・



一斉に小ガメ達が地表に現れ・・・



一生懸命！  
海にかえって  
いきます！！

## 7. 兄国・荒蒔地区の櫛田川堤防が通り抜けできなくなります

多気町兄国・荒蒔地区の櫛田川堤防は、河川管理のための通路であり、従来より一般の自動車の通行はご遠慮して頂いているところですが、事故防止のため、平成25年1月10日より、佐奈川の朝長橋下流および新両郡橋（国道42号）地点の堤防で、チェーンによる通行止施設を設置します。

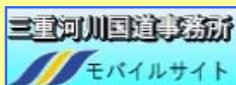
今後、この区間は通り抜けできなくなりますので、お知らせ致します。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。



外出先での河川情報などのご確認は、以下の各モバイルサイトをご利用ください！



【URL】  
<http://i.river.go.jp/>  
【QRコード】



【URL】  
<http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/m/>  
【QRコード】



所在地

ご意見・ご要望は、  
こちらまでお寄せ下さい！



櫛田橋より上流側の堤防沿いにあります。



国土交通省 中部地方整備局  
三重河川国道事務所 櫛田川出張所  
〒515-0205 松阪市豊原町1341-1  
(tel) 0598-28-2265  
(fax) 0598-28-6798

